

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

家庭科「家庭基礎」(2年商業科)	単位数	2単位	学科	商業科
	学年	2	組	J、K

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	・生涯にわたって自立して生きていく力を養うために、お互いが協力しながら生活できるようにする。 ・課題を主体的に解決し、家庭や地域社会を創造できる能力と実践的態度を身につける。
-------	--

育成する資質能力	「自己肯定感」「判断力」「人間関係力」「友愛」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」 「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評価の 内容	・生活に必要な知識と技能が習得できたか。 ・授業内容をきちんと理解し、身につけているか。 ・自立して生きていくための生活課題を主体的に解決する知識と技術が身についているか。	・人の一生と社会とのかかわりについて考えることができたか。 ・生活課題を主体的に解決するためにはどうしたらよいか、自分のこととして捉えられたか。	・調理実習の服装はきちんとしているか。 ・進んで実習に取り組み、班で協力しているか。
評価 方法	・期末考査の成績から評価します。 ・小テストの成績から評価します。 ・実習等の成果物から評価します。	・定期考査の成績から評価します。 ・授業プリントでの記述などから評価します。	・実習での参加態度や意欲等から評価します。 ・グループ学習での課題の取り組みなどから評価します。 ・課題の内容と提出状況から評価します。 ・授業プリントの提出から評価します。 ・製作記録表などから評価します。
配分	70%	20%	10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、 他教科との関連など）
第 1 学 期	はじめに 「家庭基礎」を学ぶにあたって 第1章 生涯を見通す ・人生を展望する ・青年期をどう生きるか ・5つの自立	・授業の進め方と授業内容について確認します。 ・「生きる」ことについて考えて、なぜ家庭科を学ぶのか理解します。	・今自分自身がどのくらい自立しているかを知り、今後自分の自立を確立していく事の大切さを知る。 ・成年年齢の民法改正にともない、契約の意味、未成年と成年の権利と義務の違い等を学ぶ。

	第2章 人生をつくる ・家族、家庭を見つめる 第9章 経済生活を営む ・現代の消費生活の特徴 ・生涯の経済生活を見通す ・生活のリスクと保障、保険 ・購入、支払いのルールと方法 ・消費者の契約、権利と責任 ・家計資産について 第8章 住生活をつくる ・住居の変遷と機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・一人暮らしを想定した間取りについてのワーク ・調理実習（和食） ・浴衣の着付け（予定）	・自分らしい生き方をするために、自立することの大切さ、自己実現について考えます。 ・これから先の家族形態や現状を理解し、自分にとっての家庭のあり方について考えます。 ・結婚や離婚、親子、相続など家族・家庭に関する法律を理解します。 ・今の自分がどんなことにお金を使っているのか振り返ります。 ・生涯賃金や給料明細から、収入と支出など、暮らしに必要なお金について学習します。 ・契約やその責任、支払い方法やクレジットカードの仕組みを知り、便利で適切な方法を考えます。 ・消費者問題から悪質商法などについて学習します。 ・家計資産のマネジメントとして金融商品の特徴を学習します。 ・大量消費やエシカル消費について考えます。 ・住居の間取りの基本的条件を理解し、住居の構成について考えます。 ・住宅広告の見方と住宅選びのチェックポイントを学びます。 ・将来の一人暮らしを想定して部屋選びや部屋の使い方について学びます。 ・住居の平面図を詳細に読み取る能力を養い、住空間に対する認識を深めます。 ・調理器具の使い方についての技術を習得します。	・消費者の権利と義務を学び、消費者教育を徹底する。 ・自分の生活空間と照らし合わせる。
第2学期	柏葉祭に備え、食中毒について学習 第6章 食生活をつくる ・食生活の課題について考える ・食事と栄養、食品 ・食品にまつわる実験と実践 第7章 衣生活をつくる ・なぜ着るのか	・食中毒のDVDを通して、食品管理の方法について学習します。 ・食べることについて考え、生命保持のために食物が重要であることを理解します。 ・5大栄養素の働きと欠乏症を理解します。	・食品の管理、販売に責任を持てるようになる。 ・調理に興味を持ち、将来の進路に関係した学校や職場に関心を持つ。

	・着ごちのよい被服 ・衣類の保管と手入れ方法 ・調理実習（洋食） ・被服実習（エコバック）	・各栄養素を多く含む食品を具体的に確認し、何を食べたらよいか理解します。 ・毎日着ている衣服についての意味を学びます。 ・基本的な繊維・糸・織り方・編み方や洗剤の働きと衣服の保管方法を学びます。 ・調理の工夫と自分で作る楽しさを学びます。 ・布の裁断、縫製の仕方を学び、自分で物を作り完成させる「もの作りの喜び」を学びます。	
第3学期	第3章 子どもと共に育つ ・子どもの育つ力を知る ・子どもと関わるためには 第4章 超高齢社会を共に生きる ・超高齢、大衆長寿社会について ・心身の特徴と、社会保険について ・人形を使った保育体験 ・高齢者体験 ・調理実習（中華）	・乳児・幼児の成長と発達の特徴を理解します。 ・子どもの自立と生活習慣の形成、病気と健康管理と事故防止のチェックポイントを理解します。 ・家庭保育と集団保育の意義について学びます。 ・子どもの人権と児童福祉について理解します。 ・高齢期と加齢に伴う心身の変化や生活課題を理解し、家族や地域・社会が果たす役割を考えます。 ・高齢者が尊厳を保ち、自分らしく生きていくあり方について考えます。 ・高齢化にともなう、家族・社会の抱える今後の課題について理解します。 ・高齢期の豊かな過ごし方を考えます。	・近い将来に保育をする時のため、子どもの育児について学ぶ。 ・将来の進路の選択肢として保育に関連した学校や職場に関心を持つ。 ・ライフサイクルの現状を知り、社会全体の問題として考えていく重要性を知る。 ・充実した高齢期を送るために必要な自立を知る。 ・自分の周りの高齢者に対する配慮を学ぶだけでなく、将来の進路の選択肢として介護に関連した学校や職場に関心を持つ。

使用教科書	家庭基礎（東京書籍）
副教材	家庭科 55 デジタル+（教育図書）

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	高校時代は、今まで17年間の個々の成長過程の中で培われた、人間としての基本的な生活習慣を改めて見直すもっとも大切な時期です。さまざまな能力を身につけ自立し、色々な人生観や価値観があることを認め、尊重かつ共生していくことが大切と考えます。さらに生涯生きていく上で必要な知識と技術を身につけるために学ぶ教科です。机上の理論として表面的に理解するのではなく、すべて自分のこととして主体的に捉え、授業や課題に取り
---------------------	---

	組み、実践するように心がけてください。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	授業はプリント学習で、知識を整理し、テーマごとにどうしたらよいかを考えながら進めていきます。自分の意見を書くところは、よく考えてしっかり記入してください。 自分の考えを人に伝えるのは難しい事ですし、知らないことが沢山あって当たり前です。一緒に頑張りましょう。
その他のアドバイス	教科書、資料集、調理実習でのエプロン・三角巾等、すべて忘れ物は減点対象となるので忘れ物をしないようにしてください。課題の提出は期限を守り、内容も充実するように意欲的に取り組んでください。 被服実習や調理実習が苦手でもできることはたくさんあります。失敗してもよいので怪我の無いようチャレンジしていきましょう。